

「秋田大学学生海外派遣支援事業」帰国報告書

記入日：2009年2月4日

所属：教育文化学部 国際言語文化課程 国際コミュニケーション選修 三年次

氏名：澤口 なつ美

派遣先大学名(国)：円光大学・韓国

派遣期間：2008/3～2009/2

渡航年月日：2008/2/28

帰国年月日：2009/1/26

○研究・学習概要及び今後の勉学計画

今回、私は交換留学の形でしたが、学部の方ではなく大学付属の語学学校にのみ通っていました。なので、語学学校に通いながら、韓国語の読み・書き・聞き取りの授業を主に受講していました。語学学校での授業の他にもいくつかの文化体験の授業も毎週ありました。今回私が留学した円光大学は、円仏教という宗教をもつ大学でしたので、それに基づいた、“禅と瞑想”という授業の他、韓国の伝統楽器“サムルノリ”の授業、国技“テコンドー”の授業もとても興味深かったです。今回留学したことで、韓国に対する関心がとても強まったので、まだ詳しくは決まっていますが、卒業論文は韓国と日本の比較文化で進めていきたいと考えています。将来は、もちろん韓国語生かした職業に就きたいと考えていますが、それよりもこの留学自体を生かせるように、日本や海外からの留学生をサポートする仕事ができればと思っています。

○生活面について

私は、留学している間は、ずっと大学の寮に住んでいました。留学生に用意される寮は1番良い寮でした。しかし寮生活は初めてで、しかも韓国人学生と2人部屋だったので、初めは韓国語も全く分からない状態で、慣れるまで時間がかかりました。学生食堂もなかなか韓国食になじめず苦勞しました。

しかし2カ月も経てば、食事や生活習慣にもなれ、言葉も少しずつ通じるようになるので、少しの辛抱と努力で初めの状況とは全く違うものになっていくと思います。

一人で、大学路で買い物をしたり、仲良くなった韓国人の友達と遊んだり、1学期が終わるころには、楽しいことが多くなりました。

習慣やマナーの違いはたくさんありますが、生活していく中で自然に教わり、覚えていったので、その違いを学ぶことも新鮮で興味深かったです。

現地の学生との交流は、日本語教育課の学生たちと仲良くさせてもらっていました。MTという行事に参加させていただいたり、そこで仲良くなった学生達と、お互い言葉や、文

化、習慣などを教えあったりしていました。

○その他留学全般にわたる感想

円光大学の語学学校は週末に、学校のみなどでどこかにいったり、体育大会をしたりと、いろいろな行事が、たくさんあって学生同士が交流しあう場がとても多かったです。

学部ではなく語学学校に通っていたので、やはり韓国人学生よりも、語学学校の留学生の人たちと交流することがはるかに多かったです。特に2学期に入り、上級班で学ぶことになってからは、クラスに8カ国の留学生が集まって、一緒に勉強していました。たくさんの方の友人たちと韓国語を学ぶことを通じて、親しくなり、お互いの国の話をしたり、文化を学んだりできたことを、本当にうれしく思います。韓国・他国のたくさんの友人たちのおかげで、とても充実した最高の留学生活が送れました。

